

宜基渉第 13 号  
平成 27 年 5 月 9 日

防衛大臣  
中谷 元 殿

宜野湾市長 佐喜眞 淳

普天間飛行場の早期閉鎖・返還と、その間の危険性の除去  
及び基地負担軽減の実現について（要請）

本市の市域面積の約 25 パーセントを占める普天間飛行場は戦後 70 年もの長い間、まちのど真ん中に存在し続け、市民は加重的な負担を強いられ続けております。

本市としましては、9 万 6 千名余の市民の生活や生命・財産を守る立場から、そのような状況を出来るだけ早く解消するべく、普天間飛行場の 5 年以内の運用停止をはじめとする危険性の除去や負担軽減への取り組みについて、引き続き着実に実施される事を強く望むものであります。

つきましては、下記の事項について要請いたします。

#### 記

1. 普天間飛行場を絶対に固定化することなく、一日も早い閉鎖・返還を実現すること
1. 普天間飛行場の 5 年以内の運用停止をはじめとする危険性の除去や基地負担軽減について、市民がその効果を実感することが出来るよう、着実に実施すること